

信篤 (SHINTOKU)

いちかわ

市川市議会議員 **松永おさみ**
後援会だより 第18号

事務所/原木1-22-16 電話・FAX 047-327-1470

www.matsunaga-o.net

九月議会

道路交通行政を質す！ 温泉施設は来年九月開設

市川市議会九月定例会は、九月六日から二十二日の十七日間にわたり開催されました。市長から提出された議案は、市川市国民保護対策本部及び市川市緊急対処事態対策本部条例の制定、一般会計補正予算など条例十六件、予算五件外合計二十九件。審議の結果は、全て原案の通り可決されました。なお、十七年度決算認定案件は特別委員会を設置し、休会中に審議することになりました。松永おさみ市議は、十五日に一般質問を行いました。その概要を以下お知らせ致します。

外環道路など七つの質問！

質問① 『交通安全対策の徹底した取組み姿勢』を伺う
原木のH・Cコーナン入口付近で、再び自転車の主婦がオートバイにはねられ、手首や足、肋骨を折る大怪我をした。共同現地診断の実施と安全対策の考えは、又行徳街道など大型車通行禁止区域への進入車両取締り強化の警察への申し入れは。『交通事故による痛みしい死傷事故で多くの方々被害を受け、市川市でも昨年十七名が死亡された。事故防止に向け、路上駐車対策を始め係属的機関と連携した安全指導を行い、啓発活動を継続的に強化しながら、粘り強く展開してま※

決算特別委の副委員長に就任

九月定例会に上程され閉会中の継続審査となった十七年度市川市一般会計・特別会計の決算について、十人の委員で構成する決算審査特別委員会が設置され松永おさみ市議は副委員長に選任されました。審査は十月十六日(月)二十日(金)の五日間にわたり行われます。

※いりたい。道路改良も推進し、事故多発地点については、警察を中心として共同現地診断を実施していく。コーナン周辺の安全対策は、近傍で進む原木西浜土地画整理事業の進捗により、歩道改良等も進んでいるので地域全体の安全対策の充実に向け、関係者と協議・調整を進めていく。大型車の違反について、取締り強化を警察に要請して行く。『を伺う。高谷地区のモデル道路の現状と見直しは、高谷地区の用地買収の状況は、平成十七年度と示された。本年七月末の用地取得率は千葉区間で八十九%、市川市間は八十七%、高谷地区・九十六%、国分地区・九十三%、須和田平田地区・六十八%となっており、市内の残件数は、三七三件である。高谷地区のモデル道路は、十月中旬に開通予定。用地取得率については、本年度から担当職員の増強、取得率の低い区間への重点的配備に向けた編成等の強化を図っている。』

質問③ 『都市計画道路三・四・十三号の見直し』について、市道の支援体制について伺う。『千葉県が事業者で、平成十七年度に外環道路接続点(産業道路間の高谷地区約三五〇Mの区間を含め、妙典橋の調査設計に着手、昨年高谷地区の用地買収の調査設計に着手、昨年C迄の区間は妙典橋の整備に目途がついた。市点で事業化を検討したいと聞いています。市と備推進を要望し、積極的に協力して行く。』

質問④ 『京葉道路原木ICを中心とした周辺道路の改良計画は』又地元ICの環境改善会議』を立上げ利用者の安全・安心の増強に努めたいとのことだが、市の考えは。『この地区の道路形態は複雑で、歩行者・

質問 『この地区の道路形態は複雑で、歩行者・

※自転車・自動車交通に対する安全対策の必要性は認識している。原木ICは、外環道路と京葉道路を結ぶ広域的な道路ネットワークの一端を形成している。ので、抜本的な計画調整が必要と考える。又、地元における環境改善会議は、行政とタイアップした取り組みを進めるとのことですので尊重して参りたい。」

質問⑤ 『二俣川のふたかけによる、歩行者の安全確保対策』についての見解を伺う。

答弁 『二俣川の河川改修は、当面困難な状況である。しかし、現在の状況を考慮して、県道と河川間の市道官有地を利用した歩行者通路の確保、車道部の線形改良を目的として、二俣二丁目十番先の橋梁から十番地先の約百メートルについて、本年度県が検討を進めるとの回答を受けた。今後は、船橋市と連携を図りながら、県に協力し地元との協力を得て、事業化に取り組んでまいりたいと考える。』

質問⑥ 『京葉道路をまたぐ二俣架道橋の増設について』の考え方は

答弁 『京葉道路を管理する東日本高速道路(株)と協議しなければならぬが、新たな橋梁設置は、様々な条件が付されることから、長期的課題として考えざるを得ない。当面は現状の架道橋を活かしながら、原木IC周辺の交通網の見直しに整合する工夫が可能かどうか検討する。』

質問⑦ 『原木一丁目三番と三丁目一番地先の真間川に新

しく橋を架ける』ことについて。地元の人達は、不便の上なく困却しており、有事の際、防災上も重要な橋となるので、交通計画に取り入れ事業化して欲しい。所見を伺いたい。

答弁 『市として防災時を想定し、避難経路となることも含めて長期的課題として、新たに橋を架ける必要性を認識している。現時点では、費用対効果を含めた課題とさせて頂きたいと考えている。』

来年九月にオーブン クリーンセンター温浴施設

クリーンセンター余熱利用施設の完成見通しと、今後の工事スケジュールについて質問したところ、担当の環境清掃部長から、次の通り答弁がありました。『十月から本体の建設工事に着手、平成十九年九月のオーブンを目途に進めていく。地元の高齢者の多くの方が待ち望んでいる施設であるので、期待に浴うよう努力する。』

京成中山駅の駅名変更要望の その後の経緯について

平成十五年六月に、中山町会長から提出された陳情は全会一致をもって市議会で採択され、早や三年経過したその後の経緯について質問しました。それに対する街づくり部長の答弁は次の通りでした。

『市川市として、地元町会の一万余五八一名の署名を添えた陳情を受け、京成電鉄に対して現駅名に「中山法華経寺」の名前を入れることと、バリアフリーによる駅舎の改築を要望した。その回答として、駅名変更に係わる費用が莫大であり、他への影響から当面は変更しないとのことであった。その後地元町会・商店会等で「中山まちづくり協議会」が発足し、その活動の中で再度要望してきた。厳しい状況ではあるが、地元の熱意と議会の意向を尊重し、引き続き働きかけて参りたい。』

秋の祭礼日は



原木	日枝神社	十月八日(日)	〃	九日(月・祝)
二俣	日枝神社	十月八日(日)	〃	九日(月・祝)
田尻	日枝神社	十月十四日(土)	〃	十五日(日)
高谷	大鷲神社	十一月三日(金)	〃	五日(日)
		十一月四日(土)	〃	